

中間見直しにおける論点及び今後の方向性

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	解決策・具体例
出産・子育て 女性の活躍	1 安心 活力	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や行政など社会全体で子育てをする仕組みづくりが必要ではないか ●子育てしやすい仕事・職場づくりをどう実現するか 	①夫婦だけでなく、実家、隣近所、地域コミュニティ全体で子育てする仕組みづくり（沖縄、離島など参考） ②子育てしながら働きやすい企業になるための支援 ③行政が行うべき子育て支援 ④「社会全体で育てる」という子育て環境向上に向けた機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や男性による子育ての促進 ●育児の外注体制強化（保育所等） ●企業での育休や育短勤務の取得促進
	2 総合	<ul style="list-style-type: none"> ●時間単位の有給など、女性にとって一定の時間が作れることは大事であり、企業による制度的なバックアップとともに、行政はその環境整備を行うことが必要ではないか 		
	3 総合 安心 (発展)	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てや地域行事等の参加など、女性の社会的制約を軽減する対策が必要ではないか ●女性の生きづらさを解消する取組を進めるとともに、女性にとって魅力的な大分県となるための新たな取組が必要ではないか 	①女性の生きづらさを解消する仕組み ②女性の職業スキームを高める取組 ③女性にとって魅力的な大分県づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●母子手当を婚姻の事実破綻で支給できるようにできるか <ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭の支援強化 ・嫡出子に限らず行政サービスを受けられるようにする ●女性の4大進学率を上げる取組、理系への進学を促進する取組 ●都市部のように洗練された場所、出かける目的となる場所のような、若者が集まるスポットをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・職や遊びの機会を増やす ・出会いの場づくり
	4 総合 (発展)	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡など他県の魅力の検証とともに、他県の女性の意見を聞くことも大事ではないか 		
地域共生社会	5 安心	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会やNPOなど多様な主体、世代が繋がり支えあう地域をどう実現するか 	①地域での活動をつなぎ、コーディネートする中間支援組織の充実が必要ではないか ②NPOを資金的に支援する新たな仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ●NPOが企業や自治会等多様な主体と協働して公共的な地域課題を継続的に解決するモデルづくりの推進 ●コミュニティバスや乗合タクシーの運行、離島航路の維持 ●無人カートの走行検討等 ●拠点空き住宅への移住検討 ●保育園と老人ホーム等の隣接設置等
	6 安心	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワーク・コミュニティの取組は進んでいるが、人口減少を前提とした、さらに踏み込んだ施策が必要ではないか 	①ネットワーク・コミュニティや集落対策と地域包括ケアシステムなど地域を支える主体・システム等を統合できないか	
	7 総合	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の実情に応じた新しい地域公共ネットワークの検討など、地域特性を踏まえた(差別化した)取組が必要ではないか 	②地域交通の確保のため、過疎地有償運送の実施に向けた取組検討 ③大分ならではの(先駆けた)取組の検討・高度技術の活用	

中間見直しにおける論点及び今後の方向性

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	解決策・具体例
県土強靱化	8	安心 ●ソフト対策と連動したハード対策など、災害に強いまちづくりをどう進めるか	①誰もが安心して暮らすことのできる地域の防災・減災対策の強化 ②南海トラフ地震・津波への備え	●一斉避難訓練の実施 ●地域の防災力強化 ●防災意識の向上
	9	総合 ●都市部との交通遮断など、災害が起こった際、影響を大きく受ける農村・山林地域等のさらなる対策も必要ではないか	③安全・安心な居住地域の検討 ・小さな拠点・安全な場所への移転誘導対策が必要ではないか	●地震・津波対策の強化 ●危険地域ハザードマップの早期作成徹底
人材育成	10	安心 発展 ●産業界や地域のニーズにあった人材の育成ができる教育が必要ではないか ●高校では、地元との繋がりを強め、地元のニーズに応えられる人材の育成も進めるべきではないか	①キャリア教育の充実	●小中高におけるキャリア教育の充実 ●高校の職業コースの見直し ・IT・AI技術ニーズに対応したコース
	11	安心 発展 総合 ●県内の地域や仕事の理解をより深め、郷土愛を持った若者をどう育てていくか ●小中学校段階でのキャリア教育を充実させる必要があるのではないか	②女子教育の見直し ③地域や産業ニーズを捉えた人材の育成・確保 ④地域と教育機関の連携	●女性の4大進学率を上げる取組、理系への進学を促進する取組 ●地域が高校に求めるニーズの把握 ●ニーズに応じた専門性のある人材の育成
	12	総合 ●地域と教員を繋ぐコーディネーターが必要ではないか ●特色のある学科を持つ大学を作っていく必要があるのではないか ●連合学部(農学部等)などの可能性を長期的に考える必要があるのではないか	⑤特色ある教育の実現	●IT分野など最先端で活躍する高度な人材の育成 ●魅力ある大学づくりに向けた産学官でのあり方検討と協働事業(COC+)の強化 ●県内大学が連携した学部(農、観光等)の設置検討
人材確保	13	活力 ●県内産業をいかに儲かる産業へ転換させるか ●大分らしい、県内企業の魅力ある仕事づくりをどう創出するか	①夢のある仕事づくり ②生産性の向上 ③人を惹きつける仕事づくり	●児童生徒と大分をつなぐキャリア教育
	14	発展 ●地元の大学や企業と、小中高校とを繋ぐ方策が必要ではないか	①大学や企業と小中高校を繋ぐ仕組みづくり ②地域と連携した魅力・特色ある学校づくり	●高校生への県内企業情報の発信と中小企業への採用力向上研修の実施
	15	総合 (安心) ●新規就業者や参入企業の生活環境面等でのフォローアップが必要ではないか	①就業者、移住者等に対するフォローアップ	●移住者リストの整備とフォロー体制の整備 ●新規就業者の経営安定等に対するフォローアップ ●Ds-Labo等による参入企業へのフォローアップ ●転出者の把握と分析

中間見直しにおける論点及び今後の方向性

テーマ	主な意見		重要論点・方向性	解決策・具体例
産業振興	16	活力総合 ●人材不足に対応した働き方改革、賃金体系見直しなど、中小企業の経営改革をどう進めるか ●中小企業対策として、チャレンジ、核となる人材の確保、個性を出すことが重要ではないか	①人口減少を見据えた経営改革 ②中小企業の挑戦に対する支援	●関係機関等による伴走型の支援
	17	活力総合 ●若者の挑戦をサポートする環境づくりをどう進めるか ●多様な人材が集まるハブのようなものをつくり、新しいものを生むことが必要ではないか	①若者の創業支援 ②多様な人材・業種の交流	●ビジネスチャンス等が広がる都市圏との交流促進 ●大学発のベンチャーの推進
	18	活力 ●教育含め、先端技術への挑戦をどう県の競争力強化につなげていくか	①先端技術に通ずる人材育成 ②先端技術を活用した地域課題解決に向けた取組	●先端技術に触れ合う教育の充実（プログラミング、遠隔授業等） ●先端技術等の社会実装促進
	19	総合 ●戦略的なITの活用（ステップバイステップ）が必要ではないか（次のステップを見据えた環境の創出など）	③先端技術を活用した産業振興 ④先端技術に挑戦する事業者支援	●先駆的な実証・実験の推進 ●産業における先端技術導入促進
	20	活力 ●デジタルマーケティングなど新しい広報にどう取り組んでいくか	①WEB・SNSの有効活用 ②戦略的なマーケティング	●国や関係機関等と連携したより効果的な広報活動の展開 ●輸出・人材確保など各種施策と、広報との連携
芸術文化スポーツ	21	発展 ●芸術の持つ、多様なものの見方や感じ方を、特に若者が身につけるためにさらに何をすべきか	①芸術文化に触れる機会の提供 ②若者の芸術文化活動の底上げ	●若者の芸術文化祭への参加拡大 ●アーティスト等を学校派遣し児童生徒への芸術教育推進
	22	総合 ●芸術文化が女性達にとって、生きづらさの解消や大分らしさとの出会いであったりする分野ではないか	①芸術文化に触れる機会の提供	●魅力的な芸術文化プログラム等の展開
その他	23	総合 ●人口の社会増減等の目標値は意欲的なものとなっているが、今までと同じ施策では目標達成は困難と思われる ●目標値のあり方、あるいは施策の効果を見極め、新しい施策として何をやるべきかを突き詰めていくべき	①施策、目標指標の見直し	-